

NEWS RELEASE (2026年5月28日) 取材依頼

SNS 教育系 YouTuber 「カイシャイン」氏が未来の教員へ特別授業

“危険は知らない場所から来ない”子どもが SNS 被害に巻き込まれる「構造」を学ぶ
報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。このたび鹿児島大学教育学部家政科石橋愛架准教授の授業では、SNS 教育系 YouTuber「カイシャイン」氏を講師として招き、教員養成課程の学生を対象とした特別授業を実施いたします。つきましては、ぜひ取材方よろしくお願いいたします。

【趣旨等】

近年、SNS を介した性犯罪、暴露アカウント、闇バイト、なりすまし、グルーミング(心理的誘導)など、子どもを取り巻くオンライン上の被害が深刻化しています。

しかし、こうした問題は「知らない人について行ってはいけない」といった従来型の指導だけでは防ぎきれなくなっています。実際には、ゲーム、SNS、同世代コミュニティなど、「子どもにとって身近で安心できる空間」が入口となり、徐々に心理的距離を縮めながら被害へつながっていくケースが増えています。

本授業では、SNS 発信の最前線で活動する YouTuber「カイシャイン」氏が、実際の事件・投稿事例・SNS 文化をもとに

- ・なぜ子どもは「自分は大丈夫」と思ってしまうのか
 - ・なぜ“普通のやり取り”から性被害へ発展するのか
 - ・ゲーム ID や SNS アカウントから、どのように個人情報へ辿られるのか
 - ・「同世代のふり」をした大人がどのように接近するのか
 - ・アフィリエイト広告や“案件”によって、どのように消費や行動が誘導されるのか
- などを、「発信者側だからこそ見える視点」から解説します。

受講するのは、将来、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等で子どもたちの指導を担う教員志望の学生たちです。

大学教員による理論的な情報モラル教育だけではなく、SNS 空間のリアルな実態や、子どもが巻き込まれていく「構造」を学ぶことで、未来の教員として必要な判断力・指導力を育成することを目的としています。

SNS やオンラインゲームが、子どもたちの日常そのものとなった現在、学校教育は子どもをどこまで守れるのか。未来の教員たちが、その問いに真正面から向き合う 90 分となります。

【日時】

2026年6月1日(月)14:30~16:00

【場所】

教育学部第1講義棟2階202室

【対象】

教育学部生 約30名

(主に幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員志望者)

【内容】

- ・SNSでお金が動く仕組みとインフルエンサー文化
- ・SNSを介した性犯罪・グルーミングの実態
- ・暴露アカウントや拡散文化による二次被害
- ・ゲームIDやSNSアカウントから始まる個人情報流出
- ・アフィリエイト広告や“案件”の構造
- ・学校現場に求められるSNS安全教育

【出席者】

SNS教育系 YouTuber カイシャイン 氏

鹿児島大学教育学部家政科准教授 石橋 愛架

【参考資料(本活動の背景・実践事例)】

■ SNS安全教育の出張授業実践(日南学園)

— 中高生に対する授業内容・実施後の反応等

https://note.com/kaishain_sns/n/n323daa26dcbe?sub_rt=share_pw

■ カイシャイン氏による活動背景・問題意識

— なぜSNS教育活動を行っているのか

<https://youtu.be/zhEkd28cRZA?si=C-U0yrfnZZVMY39j>

【問い合わせ先】

鹿児島大学教育学部家政科准教授 石橋 愛架

研究室HP: <https://aikalab.sakura.ne.jp/>